

令和2（2020）年度 事業報告書

（2020年4月1日から2021年3月31日まで）

特定非営利活動法人赤城自然塾

1 事業実施の成果

（1）特定非営利活動に係る事業

森づくり事業（自然環境の保護・保全の推進）においては、継続主催事業の前橋市ぐんま緑の県民基金補助金を活用した松枯れ林地再生事業として、前橋市富士見町西大河原地区小野里工業の森づくりと前橋市三夜沢町の森づくりを行っているが、2020年度の小野里工業の森づくりでは、小野里工業株式会社の社員の皆さんとご家族の参加協力のもと、植林、獣害防止ワイヤーネット巻きを行い森林保全の調査を兼ねた森林教育普及啓発を行うことができた。また、森林環境教育として広瀬川河畔緑の少年団を対象に2018年度から鳥の巣箱を設置してモニタリングを行っていたが、2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止とした。

前橋市三夜沢町の松枯れ林地再生森づくりでは、土地の所有者、群馬県、及び前橋市と協議し、2020年度より赤城山オートキャンプ場が参画し、下草刈りや補植などの森づくりを行った。

赤城自然塾が事務局を務めている赤城山の自然保護活動推進協議会では、覚満淵のススキの試験刈り取りとツツジ等の枯れ枝除去、木道や遊歩道の杭の補修、防鹿柵ネットの補修などの環境保全活動や植生保全活動を行ったが、自然観察会などの環境教育活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止とした。

あかぎ団森づくりの会が行う森づくりでは、下草刈りなどの作業に協力を行ったほか、国道353号線沿いの清掃活動を行った。

人づくり事業（環境教育と指導者の育成）では、赤城山ツーリズム事業の中の赤城山環境ガイドボランティア事業として、同事業コアメンバーボランティアの協力のもと、赤城山検定、並びに赤城山環境ガイドボランティア養成講座を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、赤城山検定は1級から3級の同時開催、養成講座では第1回、第2回を中止とした他、JR前橋駅からの急行バス車内におけるガイド事業を中止とした。

また、2020年度新たな取り組みとして、8月末から10月までの土日祝日で覚満淵を訪れた方が当日申し込みをし、覚満淵の自然などの魅力をガイドが解説して覚満淵を楽しんでいただく覚満淵自然観察会を行った。今後、ガイドの育成を進めながら覚満淵自然観察会を進めていくこととした。

上下流域交流事業（赤城山ツーリズム）では、2020年度新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、赤城白樺牧場秘密の絶景ツアーの初夏のツツジシーズンの実施を中止とするなど、団体ツアーの受け入れなど観光を取り巻く状況は厳しい状況となった。しかし、新型コロナウイルス

ス感染拡大予防ガイドラインを遵守し、個人向けのe-Bike レンタルやサイクリングツアー、秋、冬シーズンの秘密の絶景ツアー、さらに、AKAGI サイクルスタンプラリーなどを行った。

また、プロモーションに力を注ぎ、中止となった赤城白樺牧場秘密の絶景ツアーのVR動画やe-Bike ツアーの動画制作、モデルを使った観光素材撮影などに取り組んだほか、インバウンド向けとしての商品造成や英語版のAkagi Trip、SNSでの情報発信、ナショナルジオグラフィックトラベラー等への広告宣伝などを行った。さらに、受け入れ体制の整備として外国人向けガイド研修やモニターツアーを実施した。

市場調査では、赤城山外周サイクリングの環境調査等を行い、赤城山広域連携サイクルツーリズムを展開することとした。

また、赤城山ツーリズム事業を進めるにあたって、国の観光振興事業費補助金（世界水準のDMO形成促進事業）、誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業を活用し、新型コロナウイルス収束後のアフターコロナを見据えたインバウンド観光をも視野に入れ、ガイド育成やガイドプラン等を行った。なお、誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、2021年5月までの繰越事業となる。

その他、前橋市から、前橋市観光地域おこし協力隊支援業務、県立赤城公園ビジターセンター等施設管理委託業務、前橋・赤城スローシティ地域づくり推進業務、白樺牧場レンゲツツジ保護ボランティア支援業務を受託し、それぞれの業務を実施した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利に係る事業

別添資料1-1、1-2

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

令和2(2020)年6月30日 令和2(2020)年度総会を前橋市大胡支所会議室にて開催

(2) 理事会

令和2(2020)年6月18日 理事会を前橋市大胡支所赤城自然塾事務所にて開催

令和2(2020)年6月30日 理事会を前橋市大胡支所会議室にて開催